

| 行事予定表 | |
|-------|-----------------|
| 1 | 日 |
| 2 | 月 体操 |
| 3 | 火 入園説明会 |
| 4 | 水 ピヨピヨ |
| 5 | 木 交通安全教室 |
| 6 | 金 |
| 7 | 土 |
| 8 | 日 |
| 9 | 月 体操 |
| 10 | 火 お別れ遠足 |
| 11 | 水 おべんとうデー |
| 12 | 木 誕生会 |
| 13 | 金 避難訓練 |
| 14 | 土 |
| 15 | 日 |
| 16 | 月 体操 |
| 17 | 火 お別れ会・お別れバイキング |
| 18 | 水 |
| 19 | 木 |
| 20 | 金 春分の日 |
| 21 | 土 卒園式 |
| 22 | 日 |
| 23 | 月 体操 |
| 24 | 火 |
| 25 | 水 |
| 26 | 木 |
| 27 | 金 |
| 28 | 土 |
| 29 | 日 |
| 30 | 月 体操 |
| 31 | 火 |

先日、ついに待ちに待った雪が降りました。(待ちに待っていたのは私だけ...?) 園庭に出ると、もうすでに子どもたちと先生が大盛り上がり。(いいぞ!いいぞ!) 私も園庭に出てすぐに、雪を手にし、雪玉を作りました。それを見た子どもたちが「先生に何してるの?」「雪合戦?」私は、子どもに返ったように雪を子ども達や先生に投げて楽しみました。Aちゃん「先生雪の玉作って」と私に言います。「自分で作ってみたいらどう?」と返すと「だって冷たいんだもん」とAちゃん。私は「それじゃ、一緒につくろうよ」と言い、一緒に遊び始めます。Aちゃんは雪を触ったことがなかったようで、初めは手を冷たそうにしていますが、最後には夢中になって遊んでいました。夢中になって遊べるというのはとても微笑ましい姿だなと感じました。

園長 沖本 恭大

- 今月の予定から...
- 入園説明会 (3日)
 - 来年度入園予定の方の入園説明説明会が13時30分からあります。
 - ピヨピヨひろば (4日)
 - 地域の子育て支援「ピヨピヨひろば」として、月1回設定保育を実施しています。
 - 園開放も行っていきますので育休中の方もどうぞ遊びに来て下さい。
 - 交通安全教室 (5日)
 - 今回は5歳児の参加になります。ご家庭でもどのような内容だったかお子さんに聞いてみてください。
 - お別れ遠足 (10日)
 - 今年は市のバスをお借りして茨城県自然博物館に行きます。詳細は後日お知らせいたします。楽しい思い出がまた増えますように...
 - おべんとうデー (11日)
 - いつもお弁当のご用意をありがとうございます。子どもたちも毎回楽しみにしています。乳製品、要冷蔵のものは入れないでください。
 - 誕生会 (12日)
 - 1年に1回誕生会にとって大切な日を「おめでとう!」と心からお祝いします。
 - 誕生児の保護者の方は誕生会の見学が可能ですので、ご希望の方は、お知らせ下さい。
 - 避難訓練 (13日)
 - 地震や火事になった時の練習を毎月行っています。今月も万が一に備え取り組んでいきたいと思えます。
 - お別れ会・お別れバイキング (17日)
 - 年下の子ども達の憧れのぞうグループさんもと少しで卒園。「ありがと」の気持ちを込めてぎりんグループの子どもたちが中心となり、お別れ会を行います。

● 卒園式 (21日)

35名の子ども達が卒園を迎える大切な日です。ぞうグループさん今までありがとうございました。

お知らせ

令和8年度の入園式は4月4日(土)になります。当日の土曜保育は行いませんので、あらかじめご了承ください。



「我慢、自己コントロール」

園に着くと、すぐにF君が駆け寄って来て、「今日、一緒に給食食べよう」と言った。私の手を離さず、「絶対だよ!」と何度も念を押した。すると、私とF君が一緒にいるのを目ざとく見つけたN君がやって来て、「先生、オレと一緒に給食食べよう」と横やりを入れて来た。それを聞いていた、F君と同じクラスのT君が「Nは、いつも園長先生を連れて行ってしまわないか、いつも、いつも、ずるいぞ!」と割って入って来た。すると、N君が、うるさいとT君にパンチとケリをした。周りの子たちも「Nは悪い」と参戦。大バトルとなる。頃合を見て、レフリーストップ。「殴ったり、蹴ったりは反則、暴力は弱い奴のやること。きちんと話し合うのが、強い子のやること」と一旦、止めにかかる。それでもN君はまだ、殴ったり蹴ったり、暴れた。私は、N君を強く抱き止め、落ち着かせた。「Nは先生と一緒に給食食べたんだよね。そう思ってくれてありがと。でも、この前はTが先生と先に約束していたのにNが『オレと一緒に食べよう!』と言いつつ、『Tが『じゃ、いいよ』と譲ってくれたじゃないか。Nが園長ゴリラ先生が大好きと思ってくれてうれし。先生もNが大好きだよ。だから、Nがみんなから、Nは悪い奴だと言われるの

は嫌だ。お友達みんなと仲良くやって欲しい。」と言うと、いつもは人の言うことを聞かず暴れていたが黙って、下を向いた。「Nはもうすぐ一年生だ。最近とてもしつかりして、先生の話を聞けるようになった。これなら一年生になっても大丈夫だ。じゃ、TとFのところに行つて、殴ったり、蹴ったりしたことを謝ろう。そして『今日はTとFのクラスで、園長ゴリラと食べて』と言ってあげて」と言うと、まだ少し口を尖らせていたが、ガマンしてちゃんと譲ることができた。「Nは謝ることができた。自分をガマンして譲ることができた。すばらしい!」とハグすると、少しテレレキさそうにして、みんなの方に走って行った。私もうれしくなった。

▼人は人との間でしか人間になれない。人と関わりながら自分をつくる。人が一番大切なことは、コミュニケーション能力である。人を思いやることができること、人と関わる力が人生を豊かにする。子ども達は人とぶつかり合い、助けあい、一緒に遊ぶ中で、人としての生き方を学ぶ。前記したようなことは毎日あることである。それを丁寧に指導していくことで、人格の基礎が作られていく。▼スタンフォード大学の「マッシュマロテスト」が話題になったことがある。我慢することは、自己コントロールができることであり、生きていくうえで、最も大切なことである。子どもが、ひっくり返ってダダをこねたり、我ママを言って大泣きすることがあるが、そんな時こそ成長のチャンス。頭から抑え込んだりせず、子どもの今ある状況を理解し、どうして、そうなっているか考え、どうしたらよいか、なって欲しい姿を伝え、きみはそれができると励ましてあげることが大切である。

※スタンフォードのマッシュマロテストは、ホームページの理事長の話し、2015年5月をお読み下さい。

理事長 浅田 精利